

桑井選手 漫画に

女子ラグビー日本代表描く WEBコミックで連載

リオデジャネイロ五輪出場権を獲得し、注目を集めている7人制ラグビーの女子日本代表(サクラセブンズ)が漫画になった。インターネット上で今月から連載がスタートした。幕別町出身の桑井亜乃選手(アルカス熊谷―立正大大学院、中京大、帯広農業高出)が五輪を目指す物語の中心人物として実名で描かれている。

双葉社(東京)がネット上で展開する「WEBコミックアクション」で掲載している。タイトルは「サクラセブンズ 女子7人制ラグビー日本代表、リオへの軌跡」。原作は工藤晋さん、作画は村岡ユウさんが担当している。

ストーリーは陸上の円盤投げからラグビーの選手に転向し、五輪出場を夢見る桑井選手を軸に繰り広げられる。激しいタックルなど躍動感あふれる描写のほか、「チャレンジ精神こそが夢をかなえるための最高

の武器だ」などの熱いせりふも盛り込まれている。桑井選手は「自分が漫画になって不思議な感じですが、読んでもらうことで少しでも多くの人に女子ラグビーに興味を持ってもらえたらうれしい」と話している。

1日を皮切りに毎週金曜に新作が登場する。全4回で今月下旬に単行本を発売する予定。(松村智裕)



漫画化されたサクラセブンズ。左から4人目が桑井亜乃選手(©原作・工藤晋、作画・村岡ユウ/双葉社)